



新しい、をカタチにしよう。

広島工業大学の新たな展開、「教育改革18」

広島工業大学 学長
茂里 一 紘

教育改革18の趣旨

平成18年度から広島工業大学は現在の2学部・8学科体制から、3学部・12学科体制への組織替えをします(表1)。現在工学部や環境学部で行われている情報分野の教育研究を情報学部としてまとめるとともに、工学部と環境学部の学科も再編し、充実させます。本学の教育研究の幅を広げ、多様な学生の興味・関心や社会のニーズに応えようとするものです。

「教育改革18」の「18」は、新しい学部学科がスタートする平成18年度の18です。平成18年は学園創立50周年にあたります。この時期に、改めて建学の精神に立ち返り、教育改革に取り組もうとするものです。学部学科改編が教育改革を意味するものではないことは言うまでもありません。教育の質的充実こそが本学教育に対する社会からの期待に応えるものであることを認識すること、またそれを実践することが教育改革18です。建学の精神「教育は愛なり」を「教育は学生の可能性を信ずること」と理解し、教職員の教育力を再結集します。

教育改革18では、本学の教育方針「常に神と共に歩み、社会に奉仕する」を、自然を畏敬し、環境と倫理に対して高い意識を持ち、社会とのかかわりを大切にすることと解し、社会と環境への思いやりと高い技術者倫理を持った技術系人材を育成人材像とします。中核技術者としての基礎知識とそれを応用する力、環境重視の認識と環境保全のために行動する力、そして高い技術者倫理とそれを実践する力を備え持つことが学習教育目標です。

「新しい、をカタチにしよう。」

「新しい、をカタチにしよう」。これは、「教育改革18」のキャッチフレーズです。碧空と緑の草地を背景に、遠くを見つめる男女の若者の間にこの言葉が入ります(図1)。広島駅南口の電飾広告や新聞広告あるいはオープンキャンパス案内などに使用しています。明るい青と緑は本学の新しいイメージです。

「教育改革18」で言う「社会・環境・倫理」はいまさら特に新しい言葉ではありません。しかしながら、これらは21世紀の技術にあっては大切な要素です。教育改革18では、「社会・環境・倫理」にあらためて21世紀的での「新しい」価値を持たせるといことです。「カタチにしよう」は、その「新しい」を今日の状況の中で、学生の可能性を信じて、個々の学生の中に具体化していくことです。

8月末、小学生を対象とした「ワク

ワクものづくり大作戦」という企画を実施しました。学生諸君が積極的に参加し手伝ってくれました。私は、子供たちと語り合い作業する彼らの姿に、「これが本学の教育だ」とひそかな確信を覚えました。参加した保護者の方から「多くのスタッフ、学生のみなさまにお礼申し上げます」という礼状を戴きました。また、本学園のなぎさ公園小学校の行事に本学の学生諸君がボランティアとして参加し手伝ったことに対して、過日、福原校長から「ボランティアの学生さんによくやって戴いて助かりました」との言葉を戴きました。

21世紀には先端技術を担う技術者が必要とされることは確かです。しかし、それ以上に、「子供たち」と語ることでできる心と言葉を持ち一緒に作業のできるような若き技術系人材が必要とされると私は確信しています。「子供たちと語ることでできる心

表1 新学部・学科編成

学部	系	学 科	学生定員(名)
工学部	電気系	／IT社会をささえる／ 電子・光システム工学科	90
		／エネルギーそして情報／ 電気・デジタルシステム工学科	90
	機械系	／高機能なものづくり／ 機械システム工学科	120
		／知的メカを創製する／ 知能機械工学科	90
550名	建設系	／安全な生活をささえる／ 都市建設工学科	80
		／建物づくり／ 建築工学科	80
情報学部	情報系	／ネットワーク社会をささえる／ 情報工学科	100
		／情報をいかす／ 知的情報システム学科	100
	280名	健康情報系	／健康づくり／ 健康情報学科
環境学部	社会環境系	／すまい環境／ 環境デザイン学科	90
		／まちづくり／ 地域環境学科	80
	250名	自然環境系	／地球と生物をとらえる／ 地球環境学科



図1 JR広島駅南口電飾広告

と言葉を持つこと」は、「社会・環境・倫理」の「新しい」意味の一つです。「新しいを、カタチにする」とはそのような人材を育てることです。

教育改革18の方針・内容とその特色

教育改革18では、多様な学習歴をもつ学生を受け入れ、受け入れた時点での学生の関心と学力を出発点とする教育を展開します。学生の多様な関心と学力に対応する非伝統的な新しい学習教育内容と方法を積極的に導入します。なかでも体験型教育の重視、自学自習態度の育成を意識した教育を実施します。

教育改革18は、平成18年度を取りかかりの年とし、向こう10年間、不断の点検評価(PDSC)を継続しながら実施するものです。教育内容・方法に関する点検評価結果は学内外に公表していきます。教育改革18と表裏を

なすものとして教員の業績評価を実施します。「教員の資質」とは学生にとってよい教育をすることとします。教員は不断の自己研鑽によって自らの教育能力向上と教育内容・方法の改善に努めます。

教育改革18の取組を「教育改革18の10の特色」として掲げています。

- 1) 多様な学習歴を前提とした教育の展開。
- 2) 「基本学習トラック」と「発展学習トラック」によるトラック制の導入。
- 3) 近接分野の学習を可能とする「系・学科制」の導入と学科および系での学生の受け入れ。
- 4) 「体験型学習」、「動機づけ教育」、「グループ学習」、「コミュニケーション学習」および「課題探求型学習」など、非伝統的な教育内容・方法の積極的な取り入れ。

- 5) 専門授業科目での「社会・環境・倫理」に関する教育の実施(教養教育と専門教育の融合)。
- 6) 他大学との大学間協定による多様な教養科目の提供。
- 7) 「環境憲章」にもとづく環境教育の重視。
- 8) 「外が学び」プログラムによる産学連携教育の実施。
- 9) 国外大学での学習の機会提供と単位認定。
- 10) 教育学習支援センターによる基礎的科目の個別学習指導。

冒頭で述べるべきだったかもしれませんが。教育の質的充実とすぐれた人材の輩出により、10年後には地域にあってこれまで以上に存在感のある広島工業大学とする、これが教育改革18の到達目標です。